

上原賞受賞者



小川 誠司博士



宮野 悟博士

受賞者氏名： 小川 誠司 (オガワ セイシ) 医学博士 (共同受賞)

所属機関および役職：京都大学大学院医学研究科教授

生年月日 昭和37年 8月12日生

略 歴 昭和63年 3月 東京大学医学部医学科卒業
63年 6月 東京大学医学部附属病院 内科研修医
平成 4年 3月 東京大学大学院医学系研究科臨床第一医学専攻修了
5年 4月 東京大学医学部附属病院 非常勤医員
8年 2月 日本学術振興会 特別研究員
9年 4月 東京大学医学部附属病院第三内科 助手
14年 9月 東京大学医学部附属病院造血再生医療寄付講座 特任准教授
18年10月 21世紀COEプログラム 特任准教授
20年 4月 東京大学がんゲノミクスプロジェクト 特任准教授
25年 4月 京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学 教授

受賞者氏名： 宮野 悟 (ミヤノ サトル) 理学博士 (共同受賞)

所属機関および役職：東京大学医科学研究所教授

生年月日 昭和29年12月5日生

略 歴 昭和52年 3月 九州大学理学部数学科卒業
54年 3月 九州大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了
54年 5月 九州大学大学院理学研究科数学専攻博士後期課程中退
54年 6月 九州大学理学部 助手
59年 4月 理学博士 (九州大学)
60年 4月 アレクサンダー・フォン・フンボルト財団 研究員
62年12月 九州大学理学部 助教授
平成 5年 3月 九州大学理学部 教授
8年 4月 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター センター長
DNA 情報解析分野・シーケンスデータ情報処理分野 教授

受賞対象となった研究業績

「先端ゲノミクスによる癌の分子基盤の解明」

小川誠司博士 (腫瘍生物学)、宮野悟博士 (情報科学) は、長年にわたる共同研究を通じて、広範ながん種における網羅的なシーケンス解析によるがんのゲノム・エピゲノム異常の全容解明に大きく貢献した。骨髄異形成症候群における体細胞変異の研究では、全エクソン解析による RNA スプライシング因子の体細胞変異の同定を通じて変異スプライシング因子による RNA スプライシングの異常がヒト発がんに関与することを初めて明らかにした。続いて、SETBP1 変異や Cohesin 複合体変異、CTCF 変異等、慢性骨髄系腫瘍の主要な遺伝子異常を次々に解明する一方、腎臓明細胞癌や低悪性度脳腫瘍、末梢 T 細胞リンパ腫、成人 T 細胞白血病など、広範ながん種について、その発症に関わる遺伝子異常の全体像とこれらの変異に基づく発がんの分子メカニズム解明において画期的な研究成果を挙げた。一連の成果は、大量シーケンス技術に代表される先端ゲノミクスとコンピュータサイエンス・情報サイエンスを融合した、癌研究における次世代の方向性を示した先進的な研究業績である。